



# やっとかめ

2023年7月号



同窓会会長 吉田和郎（同福大垣・99信徒奉仕卒）

東海聖書神学塾の同窓会総会を、例年、海の日に開催していましたが、昨年、一昨年に続き、今年も開催を中止します。

新型コロナウイルスの分類がインフルエンザ並みの5類に変更され、いろいろな活動が以前に戻りつつありますが、残念ながら感染状況は、少しずつ拡大傾向にあるようです。第9波が来ているとの専門家の見解もあり、総会は開催中止とします。



「マスクの着用は、自由ですよ。」と政府が呼びかけないと、日本人はマスクを外しませんが、（感染予防という面から考える必要があり一概には言えませんが、）実際には、私の教会では、今でも殆どの方がマスクを着用しています。

他の人と同じでないといけないという同調圧力に弱い日本人ですが、このことは、キリスト教の伝道にも大きな影響を与えています。

先日、海外での邦人宣教をしていた方からお話を聞きました。カナダで、在留している日本人を見かけ、日本人教会の牧師の名刺を見せて、「良かったら、教会に来られませんか。」と誘うと、殆どの日本人が、次週か、次々週に、教会に来てくれたという感動のお話をしてくださいました。（国内においても、主の恵みにより、いろいろな圧力から解き放たれて、求道者がたくさん与えられますように。



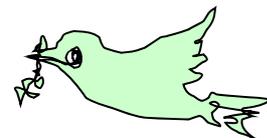
昨年、岐阜市で岐阜信長まつりが開催されました。信長に扮した「木村拓哉」を見ようと、沿道には46万人の人々が押し寄せたと記事にありました。

混乱を回避するため、観覧席に招待される人たちが事前に抽選で定められました。

抽選に外れた人々があきらめきれないで、「どこかの端から少しでも木村拓哉が見れないかなあ。」と、当日の朝から町にやってきました。そうしたら観覧席の反対側あたりにとっても見やすい場所があり、多くの人々が見学することができました。「お前たちは外れたのだから。そこをどけ。」と観覧席の人々が言っていたようです。

イエスはたとえ話の中で、5時からやって来た人々にも、1日分の給料を支払い、「後のものが先になり、先の者があとになる。（マタイ20:16）」と言われました。

2023年7月の同窓会総会は中止です。



事務局だより ○B会費（年2,000円）よろしく（毎年、同窓会から東海聖書神学塾へ献金しています。）

振込み先 <郵貯銀行> 名義 東海聖書神学塾同窓会

No. 12110-55510391

一般の銀行からは 店番：218 口座5551039